

本年4月18日に実施した調査の結果が、文部科学省より公表されました。県教育委員会では、本調査から得られた結果をもとに、全県での学力向上を目指していきます。

全国および千葉県の小・中学生の生活習慣・学習習慣と学力の関係などについて、以下のことが明らかになりました。

○朝食を毎日食べている小・中学生ほど、各教科の正答率が高い。

○毎日同じくらいの時間に就寝・起床している小・中学生ほど、各教科の正答率が高い。

○学校の授業時間以外の勉強時間は、小・中学生とも平日、休日いずれも減少傾向にある。  
なお、1日当たりの勉強時間が長いほど、各教科の正答率が高い。

○テレビゲーム\*をする時間は小・中学生とも横ばい、SNS・動画視聴の時間は、小学生で横ばい、中学生で微増の傾向にある。\*コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む。  
なお、テレビゲームや動画視聴の時間が長くなるほど、各教科の正答率が低い。

各教科の学力を高めるためには、日々の規則正しい生活習慣や時間を管理しながら学習に取り組む習慣を身に付けることがとても大切です。千葉県では、県独自の学習教材「ちばっ子チャレンジ100」(小学校)、「ちばのやる気学習ガイド」(中学校)等、小・中学生の主体的な学びを支援するウェブサイトを構築し、学ぶ意欲の向上を目指しています。これらの教材は、家庭学習での活用にも向いています。ぜひ、主体的に家庭学習に取り組めるよう、県教育委員会のウェブサイト等を活用してください。



▲こちらの二次元コードから

## ICTを効果的に活用した授業実践

### 県立高等学校で、ICTを活用した授業がはじまっています！

県立高等学校では、「学習内容の理解を深めるため」や「学習の質を高めるため」にBYOD\*<sup>1</sup>による1人1台端末を活用しています。

\*1 BYOD…Bring Your Own Deviceの略(個人所有の情報端末を活用すること)



### 【ICTを活用した学習の様子】

Teams\*<sup>2</sup>で学級全員から集めた複数の意見・考えを、グループごとに議論しながら、それぞれの意見の内容を精査し、分類・整理します。

生徒は自分の意見を発信し、多くの級友の考えに触れることで、活発に意見交換を行うことができ、議論が深まります。

\*2 Teams…Microsoftが提供しているグループウェア  
(複数の端末から発信された意見を瞬時に共有するアプリケーション)

## 令和6年度「世界エイズデー」について

知っていますか？

WHO(世界保健機関)では、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的に、12月1日を“World AIDS Day”(世界エイズデー)と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱しました。本年度37回目の「世界エイズデー」キャンペーンテーマは「U=U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー」とし、ひとりでも多くの人々がHIV/エイズのことを自分事として捉え、HIV検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげていくメッセージを発信します。

詳しくはエイズ予防情報ネット(<https://api-net.jfap.or.jp/index.html>)に掲示されています。